

平塚柔道協会HP内のブログ充実してます!

# ☆平柔通信☆

平塚柔道協会発行  
責任者 会長 奥山晴治

今月の目標・

打ち込み時の足の位置は一定に保つこと。

## 全国出場ならず～全国大会予選～

3月21日(木:祝)県立武道館で全国小学生大会県予選が行われました。平柔は、本多(絢)・遠藤・佐藤(奏)・山口・石川・(補欠:大矢)というメンバーで臨みました。初戦は5-0で完勝、2回戦は強敵朝飛道場でしたが、先鋒が1本勝ちすると一気に波に乗り3-0で圧勝しました。そして山場となる準決勝では寒川柔友会との対戦でしたが、ポイントの欲しい先鋒が押され気味で引き分けとなると、次鋒も引き分けとなり、苦しい展開となりました。その後中堅が指導2負け、副将は技ありを取りながら反則負けとなり、大将も1本負けとなり0-3で敗退しました。期待していただけに残念ですが、これが勝負の世界、2年ぶりの全国出場はなりませんでしたが、でも選手は良く頑張りました。



## 6年生頑張れ!～送別ボウリング大会を開催しました～



3月17日(日)、例年恒例の6年生送別ボウリング大会が開催されました。ボウリングを楽しんだ後、送別会が始まりましたが、指導者からの激励の言葉の後、6年生8名からそれぞれ、指導者・親への感謝の言葉が述べられました。6年生は、この6年間で心も体も大きく成長しました。中学に入学してもほとんどの子が柔道が続けてくれるようです。中学での活躍を期待しています。【卒業生8名】宮田(陽)・真田(優)・本多(結)・柿本・鈴木(陵)・野上(ひ)・阿部(泰)・白瀬(唯)

3月24日(日)、平塚市スポーツフェスタとして、東海大学永山竜樹選手をお招きして柔道教室を開催しました。永山選手は東京五輪を狙う有力選手の一であり、同じ東海大学出身である高藤選手の最大のライバルでもあります。当日は、得意技である背負い投げを中心に、内股、逆の背負いを指導していただきました。永山選手への質問コーナーの際には、多くの子供達から質問攻めとなりました。午後にはお声掛けした他道場との合同稽古を行い、充実した1日となりました。

## 永山選手!スポーツフェスタ



## 各学年最後の試合 ～上溝柔道教室柔道大会に参加～

3月30日(土)、相模原市体育館で上溝柔道教室主催の柔道大会が開催されました。この大会は各学年とも最後の試合でした。強豪チームが多くいる中、頑張りました。  
【結果】4年男子:遠藤(準優勝)、4年女子:本多(絢)(準優勝)、5年男子:山口(優勝)・石川(準優勝)、6年女子:本多(準優勝)

(4月の予定)  
30日(火:祝)神奈川県道場連盟大会

(雑感)～負けて知る～ 本号でお伝えしたとおり、全国小学大会の県予選は、優勝を目指して臨んだものの、惜しくも準決勝で敗退してしまいました。指導者としては悔しい気持ちでいっぱいですが、一番悔しいのは出場した選手であることに変わりはありません。「敗因は何か。」いろいろと考えましたが、最後に行きつくところは、「勝ちたいという勝負へのこだわり」ではなかったのかなと思います。稽古量、テクニック等において、相手チームには決して負けていなかったはずですが、勝負へのこだわりという点で一歩及ばなかったのでしょうか。「子供達を再びあの全国の舞台に立たせたかった。」指導者の正直な気持ちです。しかし結果が変わることはありませんので、今後のことに頭を切り替えてスタートする必要があります。先日、子供達には、相手を投げるためには、「自分自身が持っている力を最大限に出して技を掛ける。」ことが最も重要であることを話しました。そして、選手個々には、今後、それぞれに取り組むべき課題を科しています。「負けて知る」、さあ、ここから平柔の逆襲が始まります。引き続き、父兄が一枚岩になっての応援をお願いします。当方、残念ながら、4月から3度目となる大阪勤務となり、平柔の指導を離れることとなります。今回は1年間の短い間でしたが、濃密な時間を過ごすことが出来ました。4月以降は、また熱血指導者の金井先生からの情報を得て、平柔通信の作成をもってバックアップしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。(五)